

西都原で古代体験にチャレンジしよう！！

5月の西都原は、花見客に替わって遠足の小中学生たちで賑わっていた。西都原考古博物館にも多い日には10校近くの学校が見学を訪れ、古代生活体験館で勾玉づくりや土器づくりに没頭する子供たちの姿が見られた。できあがった勾玉を持ち帰る子供たちは満足そうな顔ばかりであった。

体験活動は世界各地ではやっている。西都原考古博物館は2013年12月から中華民国（台湾）新北市立十三行博物館と学術文化交流協定を結んでおり、先日、新北市で開かれた「2015年新北市考古生活フェスティバル」に参加した。台湾はもとより韓国や中国、日本などから博物館や大学など60を超す研究機関が参加し、今回のテーマ「人類と動物との関係」に関する展示や体験ブースが設けられていた。



フェスティバルでの考古博のブース

国立台湾史前文化博物館はイノシシの張り子風の貯金箱作り、台中市豊原漆芸館は葉っぱを模様にした漆塗り体験、十三行博物館では植物の種を使っての動物玩具づくり、韓国全谷史前博物館ではハンドアックスをデザインしたペンダントづくりなど、ところ変われば品変わるである。どこもユニークな企画であった。西都原考古博物館はペンダントの大きさに加工したイノシシの骨にフェルトペンで色つけする簡単な体験。台湾の子供たちもできあがったペンダントを首にかけ、うれしそうに「謝謝」といって帰っていった。思わず「ありがとう」と笑顔で手を振った。どこも体験は楽しいモノだ。

夏休みに入ると、西都原も家族連れや観光客で賑わう。古代生活体験館では古代人の暮らしを体験学習する縄文土器づくり、勾玉づくり、竹笛づくり、火起こしなど7種目16コースの体験講座を準備している。個人や家族連れでも予約なしで気軽に体験できる。多くの子供たちが笑顔でうれしそうに帰って行く姿がまた見られる。皆さんも古代生活体験館でいろんな体験にチャレンジしてみたいかですか。

(永友良典)



古代生活体験館の体験メニュー

※体験講座については事前に西都原考古博物館のホームページでご確認ください。